

## 送 辞

暖かい日差しに桜の蕾も綻び、春風が心地よく頬をなでる今日の良き日に、日向中学校を巣立っていかれる卒業生の皆様、ご卒業おめでとうございます。在校生一同、心よりお祝い申し上げます。

「三年生」ではなく「卒業生」という言葉の響きが、先輩方の希望にあふれたこれからを予感させると同時に、押しとどめることのできない寂しさを胸に残します。日々の学校生活で気さくに話しかけてくださったたり、困っていることがあれば親身に手助けしてくださったりと、いつも私たちの目標であり、優しく導いてくださる存在であった先輩方。そんな先輩方の背中には、いつも大きく、そして遠くに感じました。そう感じたのは、特に学校行事の際です。

夏の猛暑も先輩方の闘志あふれる姿には及びません。体育大会では、実行委員長や団長をはじめとする先輩方が、私たちを引っ張ってくださいました。時には優しく、時には厳しい声をかけてくださった先輩方を見て、私たちは自らを成長させることができました。また、団の枠を超えて全員で体育大会を成功に導こうとする姿勢からは、勝敗よりも大切な絆を教わったような気がします。

響き渡る美声や鳴り響く管弦楽、堂々とした発表の数々が体育館をコンサート会場のように思わせた緑風祭。特に合唱コンクールでは、技術を競うだけでなく、目標に向かって一致団結して努力することを学びました。「本当に強い人は、周りの人までも強くする」先輩方の歌声に、「来年こそは先輩方を超える合唱を」と、私たちの心も奮い立ちました。

数々の行事をとおして示してくださいだった先輩方の姿から、「次はあなたたちの番だ」と、力強く背中を押されていたように思います。そのたびに、日向中の伝統を受け継ぐ責任をひしひしと感じました。そのような重圧に耐えながら、寧ろ重圧を楽しむかのように私たちを引っ張ってくださいだった先輩方を、改めて尊敬します。

そんな先輩方とのお別れの時も、もうすぐそこに迫っています。私たち在校生も決意しなければなりません。先輩方のように、「優しく、時には愛情ある厳しさで後輩を導いていくこと」「言葉より行動で模範を示すこと」「自らを鍛えることで、集団としての力を強くすること」「まだまだ頼りない私たちではありますが、先輩方が築いてこられた伝統を受け継ぎながら、新しい日向中学校を創り上げていくことを誓います。

それぞれの道を歩み始める先輩方。これまでに経験したことのない、苦悩や困難が立ちほだかるかもしれません。その時には、苦楽を共にした大切な仲間やどんな時にも先輩方の成長を願って指導をしてくださいだった先生方、そして私たち後輩と過ごした日々を思い出してください。先輩方には日向中学校に残した輝かしい歴史があります。それを心の支えとして、力強く歩みを進めてください。

名残は尽きませんが、先輩方のご健康とそれぞれの舞台での活躍をお祈りして、送辞といたします。

